



2023 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 日本食品化工株式会社
代表社名 代表取締役社長 荒川 健
(コード番号 2892 東証スタンダード)
問合せ先責任者 経理部経理課長 中村 圭吾
(TEL. 0545-52-3181)

業績予想の修正並びに 剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023 年 4 月 28 日に公表した 2024 年 3 月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は本日開催の取締役会において、2023 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)につき、下記の通り決議するとともに、2023 年 7 月 31 日に公表した配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	66,000	1,800	2,000	1,700	345.63
今回修正予想(B)	66,500	3,000	3,300	2,700	548.95
増減額(B-A)	500	1,200	1,300	1,000	
増減率(%)	0.8	66.7	65.0	58.8	
(ご参考)前期実績 (2023 年 3 月期)	64,612	3,540	3,341	2,605	529.79

(2) 修正の理由

当第 2 四半期累計期間(2023 年 4 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日まで)の業績の状況等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を上記の通り修正いたします。

売上高は、原料の市況下落に伴う販売単価の低下が見込まれるものの、社会経済活動の再開により外出機会が増加したこと、更には夏の猛暑の影響により飲料向け糖化製品の販売数量が増加したこともあり、増収が見込まれます。また、売上原価は、玉蜀黍価格の低下や生産効率の改善及び各種コスト削減への取り組み等により減少する見通しです。この結果、売上総利益が増加することから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益となる見込みです。

以上のことから通期業績につきましては、売上高の増収、売上原価の減少等により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、前回予想を上回る見込みです。

2. 剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当(中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2023 年 7 月 31 日)	前期実績 (2023 年 3 月期中間)
基準日	2023 年 9 月 30 日	同左	—
1 株当たり配当金	100 円 00 銭	60 円 00 銭	—
配当金総額	491 百万円	—	—
効力発生日	2023 年 12 月 5 日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(2) 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2023 年 7 月 31 日公表)	60 円 00 銭	65 円 00 銭	125 円 00 銭
今回修正予想		100 円 00 銭	200 円 00 銭
当期実績	100 円 00 銭		
前期実績 (2023 年 3 月期)	—	180 円 00 銭	180 円 00 銭

(3) 剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正の理由

当社の配当に関する基本方針は配当性向 35%を目安に、当社及び関係会社の業績、事業環境、財務状態を勘案の上、配当金額を決定することとしております。

上記方針及び業績の見通しを踏まえ、中間配当につきましては、直近予想から 40 円増配の 1 株当たり 100 円とさせていただきます。期末配当予想につきましては、直近の予想から 35 円増配の 1 株当たり 100 円に修正いたします。この結果、1 株当たりの年間配当予想は、前回予想から 75 円増配の 200 円となる見込みです。

以 上